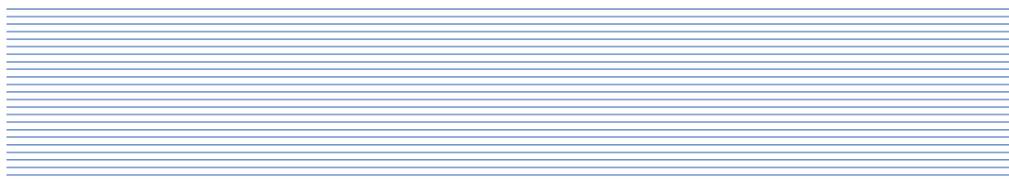


データでみる大正大学

2004

平成16年4月1日▶平成17年3月31日



(写真左：10号館全景 右上・右中：教室 右下：1階カフェテリア)

10号館完成!!!

平成16年4月から建設工事が行われていた10号館(新教室棟)が完成し、平成17年3月29日に竣工式が行われました。

建物は、地上5階建ての鉄筋コンクリート造で、1階がカフェテリア、2階から5階が教室となっています。安全性の確保/快適性の実現/経済性の追求/社会性の確保をコンセプトに設計されており、教室はすっきりとしたデザインになっています。



大正大学

資金収支計算書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

収入の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	4,409,770	4,411,454	△1,684
手数料収入	160,005	190,481	△30,476
寄付金収入	245,000	262,995	△17,995
補助金収入	203,400	316,748	△113,348
資産運用収入	8,025	9,794	△1,769
事業収入	7,450	18,166	△10,716
雑収入	64,420	85,366	△20,946
前受金収入	979,884	1,081,909	△102,025
その他の収入	2,018,303	1,923,385	94,917
資金収入調整勘定	△1,229,980	△1,292,904	62,924
前年度繰越支払資金	2,900,822	2,900,822	—
収入の部合計	9,767,098	9,908,220	△141,121

支出の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,584,427	2,481,815	102,611
教育研究経費支出	1,308,293	1,121,842	186,451
管理経費支出	462,355	397,790	64,565
借入金等利息支出	9,850	9,845	4
借入金等返済支出	100,000	100,000	0
施設関係支出	644,221	576,180	68,040
設備関係支出	115,677	145,498	△29,821
資産運用支出	1,538,925	1,538,956	△31
その他の支出	258,448	267,205	△8,756
[予備費]	(18,449)	—	41,550
資金支出調整勘定	△511,565	△481,083	△30,481
次年度繰越支払資金	3,214,915	3,750,168	△535,253
支出の部合計	9,767,098	9,908,220	△141,121

(注) 予備費の使用額は、退職金支出18,449千円であります。

資金収支計算書は、本学の当該年度の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容を明らかにし、かつ支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするものです。

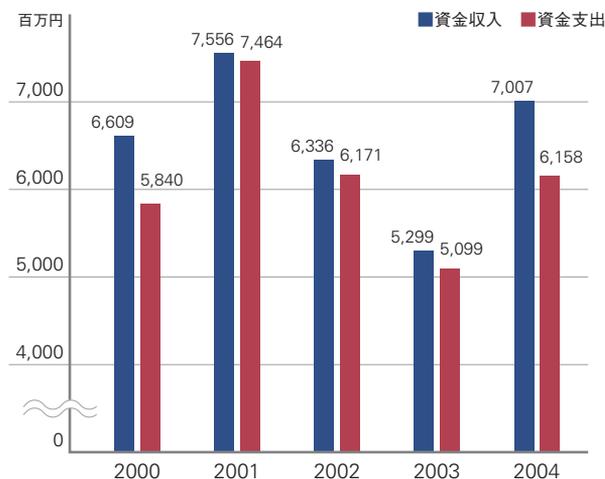
資金収入合計は、予算と比べ1億4千万円余上回りました。これは主に、志願者数、国庫補助金が見込みを上回ったことによるものです。

資金支出のうち、主要項目である人件費、教育研究経費、管理経費がいずれも予算を下回ったことにより、次年度へ繰越の支払資金が予算と比べ5億3千万円余上回りました。

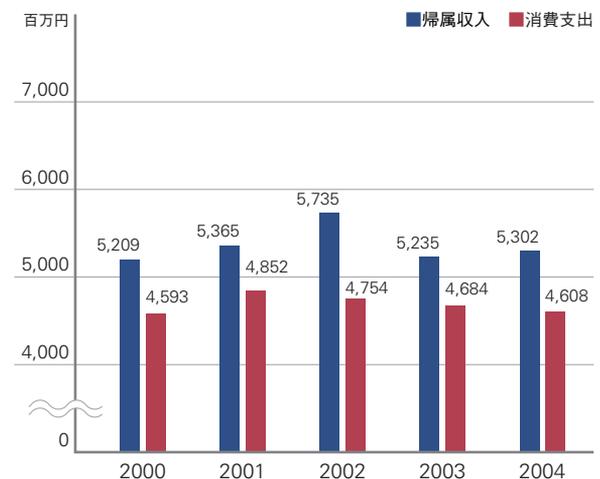
施設及び設備関係支出合計7億2千万円余は、主に10号館(教室棟)の建設にかかわるものです。

資産運用支出は、社債等への資金運用9億3千万円余、引当特定預金への積上げ6億7百万円余が主なものです。

資金収支の推移



消費収支の推移



(注) 資金収支の推移の「資金収入」は、資金収支計算書の「収入の部合計」から「前年度繰越支払資金」を控除した金額であり「資金支出」は「支出の部合計」から「次年度繰越支払資金」を控除した金額であります。

消費収支計算書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

消費収入の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	4,409,770	4,411,454	△1,684
手数料	160,005	190,481	△30,476
寄付金	245,000	269,745	△24,745
補助金	203,400	316,748	△113,348
資産運用収入	8,025	9,794	△1,769
事業収入	7,450	18,166	△10,716
雑収入	64,420	85,366	△20,946
帰属収入合計	5,098,070	5,301,758	△203,688
基本金組入額合計	△579,800	△311,482	△268,317
消費収入の部合計	4,518,270	4,990,275	△472,005

消費支出の部

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	2,565,255	2,482,769	82,485
教育研究経費	1,694,793	1,542,066	152,726
管理経費	488,955	399,917	89,038
借入金等利息	9,850	9,845	4
資産処分差額	160,000	173,233	△13,233
[予備費]	(132)	—	59,868
消費支出の部合計	4,978,722	4,607,831	370,890
当年度消費支出超過額	460,452	—	—
当年度消費収入超過額	—	382,443	—
前年度繰越消費支出超過額	1,783,952	1,783,952	—
翌年度繰越消費支出超過額	2,244,404	1,401,508	—

(注) 予備費の使用額は、退職金132千円であります。

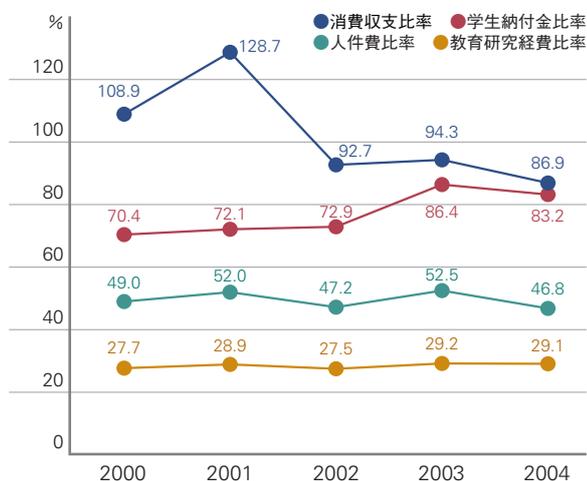
消費収支計算書は、計算目的に違いはありますが、いわば企業会計の損益計算書にあたるもので、本学の経営状態が健全であるかどうかを示すものです。

帰属収入は、借入金収入や前受金収入と違って、本学に帰属する負債とならない収入で、予算と比べ2億3千万円余上回りました。

消費支出は、借入金返済支出や施設費支出と違って教職員の人件費、教育研究活動及び法人の運営に必要な諸経費で、予算と比べ3億7千万円余下回りました。この結果、帰属収支差額は、6億9千万円余を計上することが出来ました。(帰属収支差額比率13.1%)

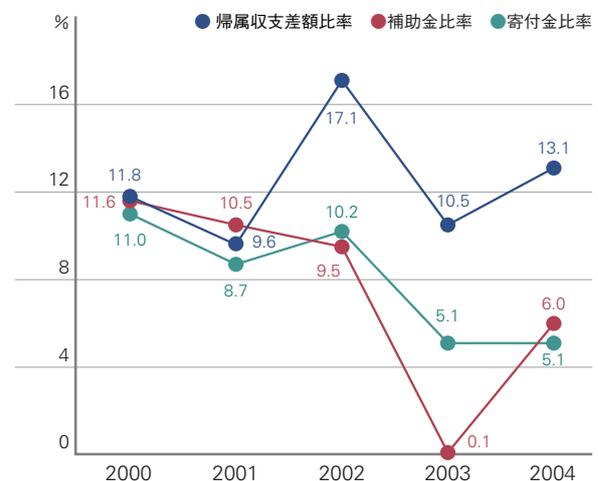
また、当期の消費収支差額は3億8千万円余の収入超過となり、翌年度繰越消費支出超過額が減少しました。

消費収支関係財務比率の推移 ①



消費収支比率=消費支出/帰属収入
 学生納付金比率=学生納付金/帰属収入
 人件費比率=人件費/帰属収入
 教育研究経費比率=教育研究経費/帰属収入

消費収支関係財務比率の推移 ②



帰属収支差額比率=100%-消費支出比率
 補助金比率=補助金/帰属収入
 寄付金比率=寄付金/帰属収入

貸借対照表

平成17年3月31日現在

資産の部

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	15,516,324	15,491,521	24,803
有形固定資産	12,486,353	12,357,410	128,942
その他の固定資産	3,029,971	3,134,110	△104,139
流動資産	3,915,561	3,146,688	768,873
合 計	19,431,886	18,638,209	793,676

負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部	3,325,697	3,225,947	99,750
固定負債	1,612,231	1,711,278	△99,046
流動負債	1,713,465	1,514,669	198,796
基本金の部	17,507,696	17,196,214	311,482
消費収支差額の部	△1,401,508	△1,783,952	382,443
合 計	19,431,886	18,638,209	793,676

(注1)

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
減価償却額の累計額の合計	4,843,313	4,496,961	346,352

(注2)

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金未組入額	759,113	562,028	197,085

※ 基本金未組入額は翌期以降基本金への組入れを行うこととなる金額です。

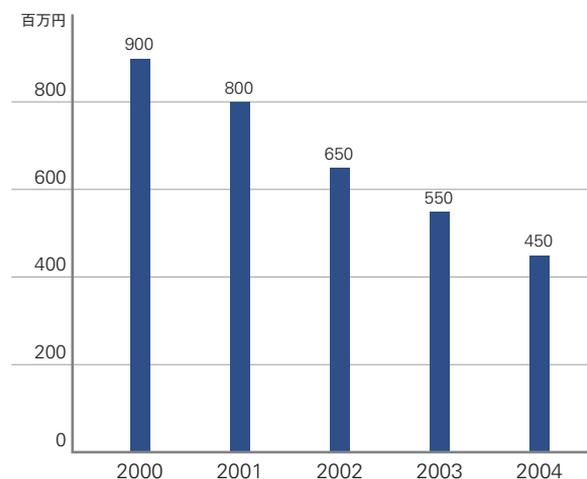
有形固定資産は、10号館（教室棟）建設費5億6千万円余（ただし除却、減価償却があり）及び図書購入により1億2千万円余の増加となりました。

その他の固定資産は、10号館建設資金に充当の為、引当特定預金の取り崩しを行ったこともあり1億4百万円余の減少となりました。

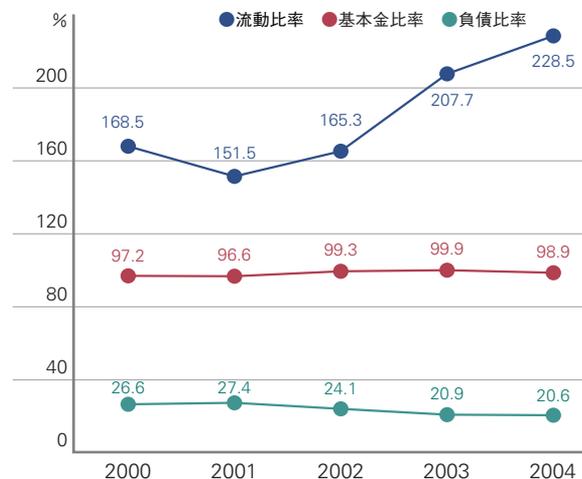
流動資産は、繰越現預金の増加により7億6千万円余の増加となりました。

一方負債の部で、借入金が減少したこと等もあり、正味資産は6億9千万円余の増加となりました。

借入金残高の推移

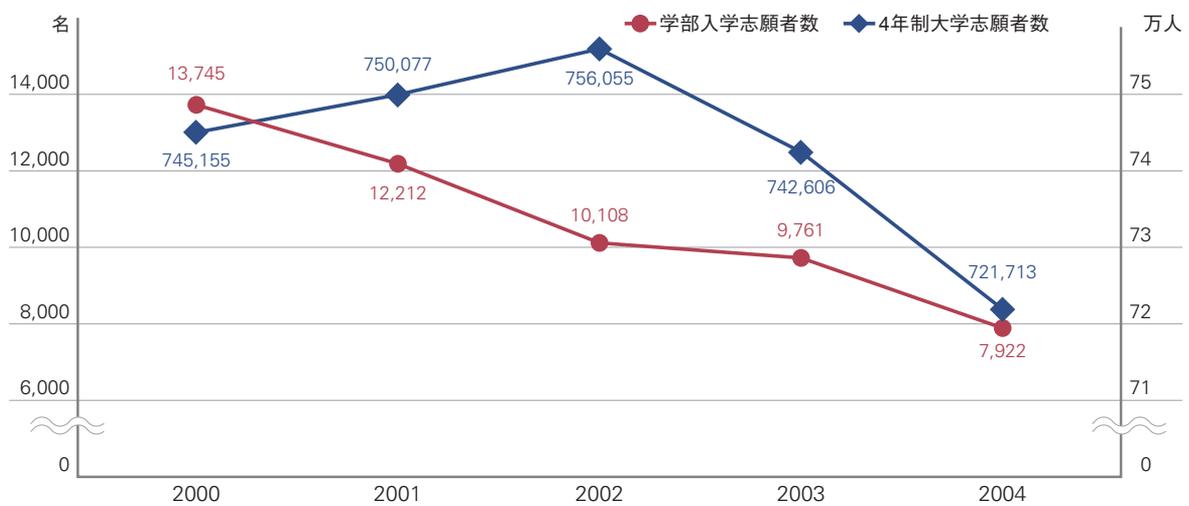


貸借対照表関係財務比率の推移



流動比率 = 流動資産 / 流動負債
 基本金比率 = 基本金 / 基本金要組入額
 負債比率 = 総負債 / 自己資金

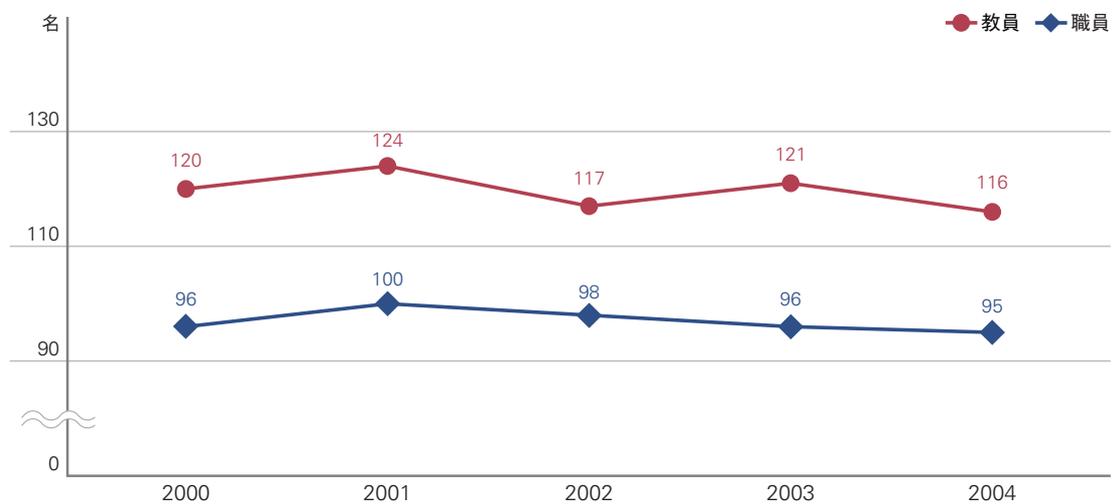
学部入学志願者数・受験人口の推移



学生在籍者数の推移



教職員数の推移



ごあいさつ



理事長
里見 達人

大正大学は、第一次世界大戦のあと、さらに未曾有の災害・関東大震災のあとの混濁とした世情のなかで、仏教復興を思う先人の叡智と努力によって設立されました。

とき、大正15年（1926）4月、新大学令の制定にあわせ、総合仏教大学を目指し、澤柳政太郎氏を初代学長として開学いたしました。

その後、激動の近代史の流れのなかで、本学も幾多の浮沈を経験しましたが、設立仏教教団と全学一丸の和の上で今日の発展をいたしました。

しかし、21世紀、世の中は大変な勢いで動いております。

とくに私学には経営という重大な問題がのしかかってまいります。

もし、これにつまづけば建学の精神も教学も全て危うくなってしまいます。

いつのときも、変化を嫌う組織は衰えます。

いままでは研究センターの大学が尊敬されてまいりましたが、これからは、それに加えて社会への貢献、つまり公益性を問われ、若者への育成・指導・教育が大切となり、大学の独自の強みを生かす戦力と、マネージメント・システムの確立に留意しなければなりません。

本学が仏教系大学としてのオリジナリティを強みとし、将来社会に大きな役割を果たしたいと念じています。

法人の状況

理 事

理 事 長：里見達人

学 長：星野英紀

常任理事：小野塚幾澄、石上善應、村中祐生、佐藤隆賢

理 事：岡本宣文、杉谷義純、鈴木道雄、原 弘隆、藤井正雄

監 事 山田俊和、鴫 晃秀、鈴木中也、齋藤价洲

評 議 員 29名（うち6名理事兼務）

顧 問 4名



新マークは大正大学の英文イニシャル「T」をベースに、向上心、人間性、宇宙観を表現した構成になっています。上方に広がり伸びるラインは、常に向上心を持ち続けるのびやかな学生のあるべき姿を表現し、ラインとリングが重なるところは個性と連帯感の共存を意味し、その中に広がる無限の創造性を表現しています。また、同時に人と自然の調和というものを2つの輪と1本の道によって表わし、本学の伝統と未来を強調しています。カラーのグリーンは地球と自然、レッドは太陽と人の心を、ブルーは未来と知性をイメージさせています。

学校法人 大正大学 総務部

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1

TEL 03-3918-7311 FAX 03-5394-3037 E-Mail info@mail.tais.ac.jp